

2026年4月リカレント委員会オンラインセミナーご報告

日 時	2026年4月18日(土)10:00～12:00 参加者40名(参加登録者含む) 形式 Webex	
テーマ	正解がない時代の課題設定～モヤモヤを“解ける問い”に変える考え方～	
内 容	1 主催者挨拶 2 参加者自己紹介 3 ゲスト講演 4 ブレイクアウトセッション 5 まとめ 6 その他	
講演者	平岡 いづみ（ひらおか いづみ）氏 サグリ株式会社 コーポレート室 室長	
司会進行	渡邊明男（一般社団法人 社会人基礎力協議会リカレント委員会委員長）	
主催者挨拶 セミナー概要 説明	渡邊リカレント委員長 2026年度のリカレント委員会のテーマは、課題力発見、計画力、想像力、心構え、世界観、問いを立てる、AI との共創などの状況を認識し、自己理解を深めて、どう活躍するかを考える能力に注目していく。 外を見て自分を見てどう考えるか。社会人基礎力の中では「考え抜く力」に重点を置く。 本日の講演は問いを立て考え抜くことを実践しておられる方にご登壇いただく。	
講演	プロフィール リクルートエージェント(現インディードリクルートパートナーズ)で事業企画やリクルーティングアドバイザーを経験し、複数の受賞歴を持つ。 その後、IT 企業で人事本部長やディレクターとして、人と組織に向き合いながら事業成長と良い組織づくりを両軸で推進。現在はサグリ株式会社でコーポレート室長としてバックオフィス全般を担当。 二児の母であり、10以上のコミュニティに関わり「関わる人が幸せに、ごきげんに」をモットーに活動している。 講 演 正解がない時代の課題設定 ① なぜ今、「課題設定」なのか ➢ 変化が常態 社会も事業も人も変わり続け、過去の正解が通用しない時代になっている ➢ タスクの増殖 頑張れば頑張るほど仕事が増え整理しないとパンクする ➢ 問いの質 闇雲に動くより「何を解決するか」を見つける ② ごきげんを「設計」する ➢ ごきげんは、気合ではなく設計できるもの ➢ 3つの力を「ごきげん」の武器にする 前に踏み出す力、チームで働く力、考え抜く力 ③ やることより、やらないことから決める ➢ 本当に、今やるべきか、誰の、何に役立つか、今やる意味があるのか、自分がやる必要があるのか ④ モヤモヤを「解ける問い」に変える3ステップ ➢ 言語化(モヤモヤをそのまま言葉にしてみる)⇒制約の特定(守りたいもの・制約を明らかにする)⇒変換(行動が決まる、問いに変える) 例) 問いの変換	

	「オペレーション業務が増え続ける」、「社内から次々と問い合わせがきて集中できない」 ⇒「業務を見える化し、やらないことを決める。オペレーションの中で AI に何を任せ、自分たちは何にどう時間を使うか？」を問い続ける ⇒結果 作業時間を1/3削減、社内サーベイと全社員面談で組織分析、採用費70%削減 ➤ 問いが変わると行動が変わる ⑤ 思考の質が「ごきげん」な未来をつくる ➤ ごきげんにする2つの習慣は、終わってから設計すること、そして学びで自分をアップデートすること ⑥最後に ➤ ごきげん人口の増加が自身の野望である
	講演者資料より引用
ブレイクアウトセッション	今回は講演中に4回のブレイクアウトを実施。課題（質問）は以下4項目。 Q1 自分のごきげんな状態とはどういう状態か Q2 自分の「やらないこと」を挙げてみる Q3 自分の「モヤモヤ」は何か、その裏で守りたいものは何か Q4 明日から「やらないこと」は何か
まとめ	長尾代表理事 年度初めにふさわしいテーマであった。個人が心を整理しながら、わくわくしながらそして周囲を巻き込み自分自身の幸福度を上げていくのではないかと考える。
その他	次回のご案内 日時 2026年6月27日(土)10:00～12:00 講師 澤田 清恵（さわだ きよえ）氏 カドル株式会社（Cuddle Inc.）代表取締役